

## 令和6年度教育研究計画

### 1 学校教育目標

郷土を愛し、自らの役割を見つけ、全力で伸びようとする児童の育成

### 2 研究主題

児童が主体的に活動し、資質・能力を高め合う学びの創造  
～個々の児童の実態に合わせた授業の手立ての工夫～

本校の児童はQUのアンケートにおいて、学習意欲の回答が否定的な回答が多く、高学年は全国平均を下回っている。学習に対して消極的であったり、授業の途中でつまづいてしまうと、意欲をなくしてしまったりする実態がある。そこで今年度は、どの児童も授業において主体的に活動し、資質・能力を高め合うことができるように、一人ひとりの実態と手立てを明確にした授業づくりを行うことと、主体的に学習しようとする意欲や関心を高めるための発問や導入、授業展開を行うことを研究の柱として授業づくりを行っていく。

### 3 主な研究教科及び領域名

児童が主体的に活動するための手立てに焦点を当てて研究を行っていくため、教科の指定は行わず、指導者がそれぞれ決めた教科で研究を行い、様々な教科における有効な手立てについて共有していく。

### 4 研究の仮説

#### 仮説

教師が教材研究を行う中で、その教材における児童の実態(つまづき・こだわり)を把握し、一人ひとりの実態に応じた手立てを講じた授業を行うことで、児童は自分に合ったやり方で学習に向かい、学ぶ達成感を感じることができるのではないか。

### 5 検証の指標と目標値

内容	検証の指標
児童が主体的に活動した	① 一人ひとりのQUの学習意欲の数値を昨年度以上にする。 ② 教師・児童アンケートを行い、肯定的評価の割合が80%以上
資質・能力が高まった	① 学力調査の正答率を昨年度以上 ② 教師・児童アンケートを行い、肯定的評価の割合が80%以上

## 6 研究計画

期 日	教科・領域等	研 修 内 容	指 導 者
4月		今年度の方向性 指導案について	
5月		指導案の書き方 指導案検討	
6月	1年 算数科 5・6年 道徳	授業研究 6月25日 1年生担任 (森廣 武志) 5・6年生担任 (神谷 佳苗)	広島大学大学院 教授 服巻 豊
8月		1学期の授業の振り返り 2学期の授業へ向けて 指導案作成・指導案検討	
9月	1年 算数科 2年 生活科 3・4年 社会科 5・6年 算数科	公開研究会 9月25日 1年担任(森廣 武志) 2年担任(谷口 瑛莉子) 3・4年担任(安田 尚史) 5・6年担任(神谷 佳苗)	広島大学大学院 教授 服巻 豊
10月		研究会の振り返り	
12月		2学期の授業の振り返り 指導案検討	
1月	2年 国語科 3・4年 算数科	授業研究 1月29日 2年担任(谷口 瑛莉子) 3・4年担任(安田 尚史)	広島大学大学院 教授 服巻 豊
2月		次年度の研究についての方向性	